

エイズを発症して初めてHIV感染と知る者の割合

約 **30** %

Answer

発症して感染を初めて知るとは？

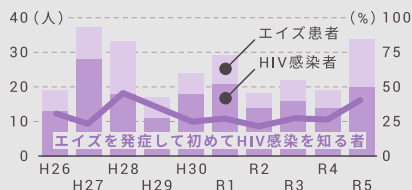
日本では、毎年1,000人ほどのHIVの感染者が報告されていますが、その約3割は、感染に気付かないまま数年間を過ごし、エイズを発症して初めて感染に気付いた方です。この割合は、札幌市も全国と同程度です。

HIVに感染すると、自覚症状のない時期（無症候期）が数年続いた後に、免疫が低下します。本来なら自分の力で抑えることのできる病気（日和見感染症と呼ばれる）のうち、エイズ発症の指標となる疾患を発症した時点でエイズと診断されます。

HIV感染症は早期発見・治療が大切

無症候期の間にHIV感染を知ることができれば、早期に治療を開始することができ、定期的な医療機関での受診や内服により、エイズの発症を防いで、感染していない人と同じくらい長く、健康的な社会生活を送ることができるようになっていきます。

札幌市のエイズ/HIV年次推移



HIV感染を調べるには？

札幌市の保健センター等ではHIV検査を無料・匿名で受けられます。また、医療機関で検査を受けることもできます（医療機関での検査は有料です。カルテ作成等の理由により匿名ではありません）。検査の特性上、感染の機会から3か月経過してから検査をお勧めします。

札幌市 エイズ検査

検索



※「HIV検査」と「エイズ検査」について：札幌市保健所等で実施しているのは「HIV検査」ですが、「エイズ検査」という表記をしております。

Introduction

エイズのこと

HIV感染症とエイズ

エイズの英語表記は“acquired immunodeficiency syndrome”で、その頭文字をとってAIDSと呼んでいます。この英語を訳したものが「後天性免疫不全症候群」です。エイズは、HIVに感染することによっておこる病気ですが、HIV感染＝エイズということではありません。HIVは免疫のしくみの中心であるヘルパーTリンパ球（CD4陽性T細胞）という白血球などに感染します。そして、免疫力を低下させていきます。HIVに感染すると数週間以内に発熱や発疹などの症状が出現することがありますが、症状だけからHIVに感染したかどうかを知ることはできません。HIV感染後、自覚症状のない時期（無症候期）が数年続き、さらに進行すると、免疫が低下し、本来なら自分の力で抑えることのできる病気

（日和見感染症とよばれる）などを発症するようになります。代表的な23の指標となる疾患があり、これらを発症した時点でエイズ発症と診断されます。現在はさまざまな治療薬が出ており、適切に服薬することでエイズ発症を予防することが可能になっています。

HIVの3つの感染経路

- ① その1 性行為による感染
- ② その2 血液を介しての感染
- ③ その3 母子感染

HIV感染を予防するためには？

- ① 性行為に際しては、コンドームを必ず使うこと、正しく使うことが大切です。

Message

HIV検査を受けてみませんか？